

//////////
新任教員
紹介
//////////

看護学部 看護学科



平尾 恭子 講師

- ①修士(看護学)
- ②児童虐待予防
- ③公衆衛生看護方法論
- ④健康でその人らしく暮らせる地域づくりをめざして、一緒に看護を学びましょう!!

- ① 学位
- ② 研究テーマ(専門分野)
- ③ 千里金蘭大学での主な担当科目
- ④ 千里金蘭大学での抱負

千里金蘭大学後援会 令和6(2024)年度総会報告

千里金蘭大学後援会 令和6(2024)年度総会を6月29日に開催いたしました。会員数789名のうち、出席会員および委任状による出席とあわせて447名で、本会規程第19条に基づき、総会は有効に成立いたしました。総会に先立ち、今年度の会長、副会長、監事の選任報告がありました。その後、新入生保護者役員の選出、令和5(2023)年度事業報告・決算と令和6(2024)年度事業計画および予算が承認されました。

会長:齋藤 政代/副会長:早川 京子/監事:中村 美好 (敬称略)

昨年度事業報告では、備品購入費における中庭と佐藤記念講堂裏手の大学北門通路への夜間照明設置などの報告がありました。また今年度事業計画では、課外活動費の一部を学生たちの学修意欲向上方策に充当させる案や、中庭ベンチの整備・防災用ベンチの購入案についてご承認いただきました。

今後も後援会では、いただいたご意見を踏まえ、より良い教育環境の提供をすべく事業の充実を図ってまいります。保護者の皆さまには、引き続きご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

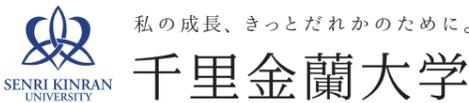
千里金蘭大学 後援会事務局
(千里金蘭大学 総務課内)

本学ホームページに後援会ページを開設しておりますので、ぜひご覧ください。
<http://www.kinran.ac.jp/kouenkai/>



年間スケジュール(後期)

2024	2025
10月 26日(土) 総合型選抜基礎学力型前期A日程 27日(日) 総合型選抜基礎学力型前期B日程	1月 6日(月) 授業開始 17日(金) 臨時休講
11月 2/3日(土/日) 大学祭(百花繚蘭祭) 4日(月・祝) 祝日授業日 17日(日) 総合型選抜チャレンジAO Ⅲ期	2月 9日(日) 一般選抜(中期)、 総合型選抜エクステンドAO(2月実施) 14日(金) Web成績発表
12月 15日(日) 総合型選抜基礎学力型後期 総合型選抜チャレンジAO Ⅳ期 23日(月) 年内最終授業日 27日(金) 冬期一斉休業(12/27-1/5)	3月 2日(日) 一般選抜(後期) 7日(金) 保護者宛成績発送予定 13日(木) 総合型選抜エクステンドAO(3月実施) 14日(金) 学位授与式
	18/19日(土/日) 大学入学共通テスト 20日(月) 授業予備期間 (1/20-22、30、31) 23日(木) 一般選抜(前期)、臨時休講 24日(金) 後期最終授業日 26日(日) 大学院入試(後期) 27日(月) 専門科目、保育・ 教職科目調整期間(1/27-29)



千里金蘭大学 総務課
〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-25-1 tel.06-6872-0673
発行/令和6(2024)年11月30日
大学web <https://www.kinran.ac.jp/>
公式Twitter <https://twitter.com/senrikinranuniv>
受験生応援サイト <https://www.kinran.ac.jp/cheer/>
受験生応援ブログ <https://www.kinran.ac.jp/cheer/blog/>
広報サークル Instagram [kinran.pr.circle](https://www.instagram.com/kinran.pr.circle)

編 | 集 | 後 | 記 |

大学祭が終わりました。初日開始時はあいにくの雨模様でしたが、夕方には雨もやみ、両日ともにたくさんの方にご来場いただきました。今年度は、キッチンカーの出店やロックバンド、学生芸人の方々のライブなど、初めてのイベントが多数あり、大変盛況でした。大学祭実行委員および学友会の皆さんは、例年とは異なる場所での会場設営やライブの出演交渉、企業への協賛依頼など大変なことも多かったと思いますが、同時に貴重な経験になったのではないのでしょうか。模擬店を出店された学生の皆さんも含め、事前準備から当日の対応まで本当に大変な日々でした。



2025年、金蘭会学園は創設120周年を迎えます

私の成長、きっとだれかのために。



- 01 学長メッセージ 研究科 MESSAGE
- 02 学部・学科 MESSAGE
- 03 ゼミ探訪vol.20
- 04 ゼミ探訪vol.21
- 05 部局 MESSAGE
- 06 大学祭(百花繚蘭祭) / ホームカミングデー
- 07 新任教員紹介 / 後援会総会報告
保護者懇談会開催報告 / 年間スケジュール(後期)

学長メッセージ



千里金蘭大学 学長
福嶋 教偉

私が本学学長を拝命し、この10月で2年になります。昨年4月からは、女性が社会で大きく活躍できる栄養、教育、看護の3学部体制となり、大学院看護学研究科に初めて学生が入学して1年半が経とうとしています。3つの学部と大学院の基礎は概ね完成したので、今後は、個々の分野で発展するとともに、お互いに連携して活動していけるようにしたいと考えています。

入学式でもお伝えしたように、近年徐々に人の多様性(ダイバーシティ)が認知されるようになり、その結果、女性がさまざまな職位に抜擢されることが多くなってきました。しかし、ダイバーシティ管理の研修やコンサルティングの現場で「なぜ、女性を優遇するのか?」という声や、特に男性と肩を並べてがんばってきた女性から「性別関係なく能力で選ぶべきだと思う」という声をよく耳にします。すなわち、女性であるからその職位に就くのではなく、その女性が性別に関係なく、その職位に就くのが相応しい知識、技術、人間性を備えているからその職位に就くようにすることが重要だと思っています。

大学入学、さらには資格・免許を取って就職することが人生の終着点ではなく、どのような看護師、管理栄養士、栄養士、幼稚園・小学校教諭や保育士になるかが重要だと考えています。そのため、本学は「資格プラス」、すなわち基礎となる資格・免許に加えてさらにスキルアップした資格を取得できるような教育をめざしたいと考えています。

看護学部では、在学中に助産師、保健師、養護教諭の資格・免許が取得可能な課程があり、卒業後はさらにスキルアップできるように、大学院看護学研究科との共同により特定行為研修を実施しています。自分の仕事を継続しながら、各々修士の学位、「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」「脱水症状に対する輸液による補正」の特定行為を取得できます。将来的にはエクモを含む機械的循環補助や固定翼機のフライトナースを育成するプログラムなど、資格プラスになるようなリカレントコースも実施していきたいと考えています。

栄養学部では、①学内で農業体験ができる実践ゼミ、②農作業の見学とともに、農業の企業運営・展開、地方創生、起業、雇用確保など食に関わる課題や対策を学ぶ北海道美瑛町での学外研修、③国際的に栄養・調理を学ぶことのできるニュージーランド(2月)や韓国(釜山・ソウル)(9月)での海外研修を実施しています。多方面の知識を学ぶことで、管理栄養士としての幅が広がる資格プラスのことを考えたプログラムを行っています。今後、吹田市や健都プロジェクトと連携して、吹田市中学校の給食・食育に本学学生がかかわれるようなプロジェクトも開始していく予定です。

教育学部では、音楽・表現活動を充実し、こども音楽療育士やリトミック指導の資格を取得することで、幼稚園・小学校教諭や保育士としての幅が広がるようにしています。昨年から海外研修も再開し、英国ブライトンでの各自の語学力にあった英語学研修(看護学部、栄養学部の学生も参加)、ロンドンの英国前田学園での保育実習なども資格プラスのプログラムとして行っています。まだ開設していませんが、看護学部と連携して医療機関で活躍できるような保育士の育成プログラムの設置も検討しています。

ぜひ、学生の皆さんには、千里金蘭大学という学びのキャンパスを十分に活用していただき、希望に満ちた大学生活を満喫してください。そうなるように、私達も全力で応援いたします。

研究科 MESSAGE

[大学院 看護学研究科]

看護学研究科長 登喜 和江

日々進化を遂げる学生たちと共に

M1の学生は、臨床でのresearch-questionを追究して思考を深め、先日の「研究計画」報告会に臨み、教員や先輩の厳しい問いにも熱い思いで応える成長ぶりを発揮いたしました。また、M2の学生は、専門学会の交流集会を企画して、自らの疑問に対する意見交換を参加者で行い、さらに研究課題を深める機会を得ました。臨床での「今」の困り事を研究課題として発展させていく学生たちの力に、改めて大学院存在の意味と意義を感じずにはいられません。成長し続ける学生たちに刺激を受け、教員もまたパワーアップしているようです。看護学研究科は、心地良い相乗効果に溢れています。



緊張感漂う報告会も「成長の場」



看護キャリア領域
「交流集会」に参加

学部・学科 MESSAGE

[栄養学部 栄養学科]

栄養学部長・栄養学科長 鎌田 洋一

千里金蘭大学栄養学部でしか学べない学修コンテンツを充実させています

2021年度に設定した「国際栄養履修モデル」は、他の管理栄養士養成大学にはない科目を学生たちに提供しています。4年目を迎えた今年も、農業体験の一環として北海道美瑛町での大規模農業見学と地域創生活動への参加、吹田くわい栽培から新メニュー開発、新しい講師を3人も迎えた国際栄養概論、さらに無水仕立てシーフードカレーの開発・販売。そして、大阪梅田のホテル阪急レスパイヤでのインターンシップ、さらには本格的韓国料理を学修する国際調理学実習と、いろいろなコンテンツを展開しています。オンリーワンの管理栄養士養成大学をめざし、学生たちも教員も一丸となり、新しいことに挑戦しています。昨年度は小中学校の食育の先生である栄養教諭に現役学生が合格し、管理栄養士国家試験合格率も全国平均を5%上回る成績でした。これらの特徴と実績に基づき、独特でかつ充実した教育を展開していきます。



[教育学部 教育学科]

教育学部長・教育学科長 島 善信

子ども体験で磨く専門性、夢を現実に

今年度は、教育学部教育学科として新たにスタートして2年目、4月には新入生36名を迎えました。1年生では手作りした遊具でしっかり遊んで遊ぶ幼児の姿に感動した「金蘭おやこクラブ」、2年生では教師には児童の指導以外にも教室の整備など多くの仕事があると気づいた子どもインターンシップ、3年生では「いやいや期」の幼児との関係づくりに苦労しながら進めた保育実習や内気な児童が思い切って挙手する感動体験をした小学校実習、4年生では小学校実習を思い出しながら何度もチャレンジした教員採用試験に向けた模擬授業、加えて幼稚園実習・こども音楽療育実習・英国の幼稚園での海外研修などをそれぞれ体験しました。どの体験からも、理念や理論につながる多くの気づきや学びがありました。多彩な子ども体験を通じ確かな専門性を備えた教育・保育のプロへと、夢を現実にする歩みが続いています。



[看護学部 看護学科]

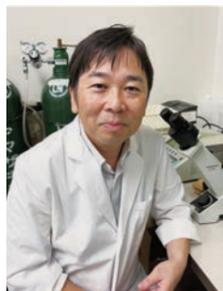
看護学部長 藤田 俱子

充実の毎日で理想とする看護職をめざそう

4月に新1年生88名を迎え新しい年度となりました。1年生、2年生、4年生は前期でそれぞれ早期体験実習、基礎看護学実習Ⅱ、総合看護学実習を経験し、看護職をめざす自分自身の在り方を考える機会になったのではないかと思います。3年生は後期から領域別実習が始まり、目まぐるしい毎日のことと思います。2年生までの実習とは違い、これから半期、毎日実習となり、緊張しつつも日々新しい発見と学びを得て学修すべきことを見だし、学ぶ喜び、臨地での実践の楽しさを感じていると思います。4年生はようやく実習が終わった解放感を得て、良い学生時代の思い出ができていることを願っています。そしてこれからは国試に向けラストスパートです。充実した毎日を過ごして学生の皆さんには理想とする看護職をめざしてがんばってほしいと願っています。



Seminar
ゼミ探訪20 vol.
栄養学科
食品機能学
研究ゼミ



崎山 晴彦 准教授

メタボリックシンドロームの
予防や治療に役立つ成分を探索中！

食品機能学研究室では、主に食品由来の天然成分から私たちの健康にとってより良い素材を見だし、構造解析から機能解析までを細胞レベルで検討を行っています。現在、4年生の学生が11名所属しており、国家試験合格に向けて勉強することはもちろん、卒業研究にも互いに励ましあいながら切磋琢磨しています。所属している学生数が多く大所帯となっておりますが、そこはチーム力で助け合いながら楽しくがんばっています。

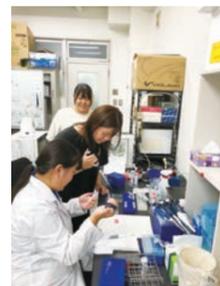
私の研究テーマは、糖・脂質代謝の要となる転写因子に着目し、肥満や糖尿病などを含めたメタボリックシンドロームの予防や治療に役立つ成分の探索を行うことです。マウスを使用した実験では、本転写因子が活性化されると肥満や糖尿病の原因の一つになることが分かっており、活性化を阻害するような成分が見つければ治療薬の候補となる可能性があります。

そこで、大阪の伝統野菜の一つである「吹田くわい」から成分を抽出し、細胞レベルでの検討を行った結果、候補となる化合物を見出すことに成功しました。

本研究成果は、11月末に開催される分子生物学会にて報告する予定です。学生たちは、学会に向けてさらに研究を進めています。

大学での学生生活は、教育に関する側面だけではなく、社会に適合するための準備段階です。研究室に所属し、直接教員から指導を受けることは、礼儀作法より始まり、「なぜ？」という疑問から学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、将来への見通しを持つ絶好の機会です。

次につながる「主体性のある学び」を提供できるよう、最高の環境を整えたいと常々思っています。



student's message

ゼミ生メッセージ

4年生になり、自分で過ごす自由な時間が増えました。卒業までに残された僅かな時間を無駄にしないように、友人と一緒に勉強したり、息抜きに美味しいご飯を食べに行ったりしています。

私の所属するゼミのグループでは、天然由来の成分による、肥満への効果について研究しています。11月末には、学会でその成果を発表する予定です。初めての経験で緊張しますが、今までの成果を含めて、堂々と発表できるよう挑みたいです。

山本 夕菜 さん

4年間を振り返ると毎日がとても充実していた大学生活でした。勉強で忙しい日々の中、家族や友人とホッと一息つく時間が何よりも心の支えになっています。

私が所属しているゼミのグループでは、天然成分を用いた筋原性疾患のメカニズムの解明について研究しています。なかなか結果が出ず大変なことも多いですが、みんなで協力しながらがんばっています。11月末には、学会で発表する予定です。良い発表ができるように努めたいです。

日根野谷 和 さん

Seminar
ゼミ探訪21 vol.
教育学科
保育幼児教育ゼミ



「どうぞのいす」
椅子に置いたどんぐりが、「ロバが昼寝しているあいだに
栗に変わっていて」驚く話。

早田 由美子 教授(後列左端)

中重 直俊 准教授(後列右端)

子どもから学び、保育力を高める

今回は3年生の4つのゼミの中から保育・幼児教育ゼミを紹介します。保幼ゼミでは、子どもと保育・幼児教育の理解を深め、視野を広げ、保育の技能や実践力を培えるように理論と技能の向上という2つの柱で進めています。

理論面では、1、2年での学修を発展させ、「子ども」をテーマに文献講読に取り組み、プレゼンテーションやディスカッションを通して問題意識を深めます。文献検索の方法も学び、さまざまな文献に触れる中で、4年生の卒業研究のテーマを絞り込めるよう心がけています。

技能面では、保育園や公民館などにおいて、ペープサートやパネルシアターなどの児童文化上演や工作などを通して子どもと交流し、子どもの実際的な理解を深められるような体験学修をしています。

児童文化の上演にあたってはグループで脚本や小道具を制作し、音響や歌、効果音なども考えて子どもたちが楽しめる内容になるよう工夫を重ねます。

今年度は、前期に北千里駅の「まちなかりビング北千里」で絵本を基にした劇を上演しました。平日の午後にもかかわらず60名以上の乳幼児と保護者の方たちが来場。子どもたちは見るだけではなく、学生制作の大きなどんぐりをカゴに入れる役を担って劇に参加しながらストーリーを楽しんでいました。

この他、千里中央の子育て広場で乳幼児向けに行う児童文化上演も10年以上続けています。

学生は子どもたちがどのように興味を持ってくれるか、どんな点が難しいか、親子がどのような姿を見せてくれるかなど多くを学びます。子どもたちの笑顔に刺激と励ましをもらいながら、自分を見つめ、楽しみながら保育の知識・技能を高めていってほしいと願っています。



student's message

ゼミ生メッセージ

前期では、大きく分けて2つの活動をしました。一つ目は、保育に関する図書を選び、ゼミ生で紹介しました。私は『絵が伝える子どもの心とSOS』という図書を紹介したのですが、自分の学びが深まったとともに、さまざまな角度から保育を知ることができました。

そして、2つ目は「どうぞのいす」を題材とした劇を子どもの前で発表しました。私の役柄の「ロバ」はどんぐりが大好きなので見に来てくれた子どもに手作りのどんぐりをプレゼントしました。子どもたちも参加できる楽しい劇ができたと感じています。

平岡 采花 さん

前期では、4年生の卒論に向けての下準備としてそれぞれ子どもに関する図書紹介をしました。私は「子どもって「いいね!」のみつけかた」という3歳児未満の保育について園の保育の実際をもとに構成された本を紹介しました。国立民族学博物館へ行き、さまざまな国の歴史や文化の風習などを学んだりしました。また、「どうぞのいす」の劇を行うなど地域の親子とのかかわりを深める機会もありました。後期では、前期の活動を踏まえて、さらに保幼についての学びを深めていきたいと思っています。

鈴木 桜 さん

部局 MESSAGE

学修・キャリア総合支援センター

センター長 阿形 恒秀

教職をめざす学生への支援

センターでは、教職支援担当の9名の教員と3名の非常勤指導員を中心に、教職（小学校教諭・養護教諭・栄養教諭）や保育職を志望する学生をサポートしています。1年生を対象にした今年度の宿泊行事「教職合宿」は、「グループワーク：参加者の関係づくり」「交流会：現職の先生との交流」「ミニ講義：教職の魅力と求められる資質」「演習：教員採用試験の概要理解」などのプログラムで8月末に京都で実施予定でしたが、台風の影響で延期になりました。日程を再調整し、改めて教職志望の学生の参加を募っていきたくと考えています。



付属図書館

付属図書館長 岩谷 智

図書館への小さな旅

海外にはとても美しい図書館があります。旅先で立ち寄ったダブリンのトリニティ・カレッジやウィーンのオーストリア国立図書館などは一見の価値がありました。ただ、私の記憶に深く刻まれているのは自分が通った大学の、今はもう動かない古時計のような閲覧室です。書物はほとんど閉架書庫に入っており、北向きのほの暗い（まさに谷崎潤一郎の『陰翳礼讃』を思わせるような）閲覧室には各国語の百科事典と辞書だけが並んでいました。

図書館は勉強したり、本を探したり読んだりするだけの場所ではありません。「レ・ミゼラブル」に出てくる青い屋根の教会（銀の燭台で有名ですね）のように、図書館は疲れた人を休ませてくれる場所でもあります。あの頃の私は、ただそこに居ただけだったように思います。そんな図書館への「小さな旅」をしてみませんか。大学時代という「人生の旅」の良い思い出になれるにちがいません。



教学センター

さまざまなサポートを活用し、有意義な学生生活を送りましょう

9月21日より後期の授業が始まりました。15回の授業にきちんと出席し、継続的に学ぶことで、その科目に対する理解がより一層深まると思います。前期で学んだことをさらに発展させるべく、後期も積極的に授業に取り組みましょう。また、教学センターでは、学修面だけでなく、学校生活の悩みや経済的な問題などを抱えている学生のための相談窓口も設けています。困難に直面した際は遠慮なくご相談ください。後期に向けて、より良い学びの環境を一緒に整えていきましょう。



研究推進・社会連携センター

センター長 石川 秀明

地域の皆さまの健康をサポートする活動を行っています

地域貢献活動として本センターの重要な役割を担っている「きんらん保健室ひだまり」は、千里金蘭大学3学部の教員と学生たちが企画・運営する団体です。皆さまの身近な場所で「健康相談・栄養相談」「小児健康測定体験」「食育活動」など、地域の皆さまの健康をサポートする活動を行っています。昨年度より社会貢献活動として3学部が連携し、未就学児の父親の育児参加を促すことを目的とした「お父さんに役立つ育児セミナー」を実施しており、本年度も北千里にある「まちなかりピング北千里」にて、未就学児の父親を対象に継続的に知識や育児技術を学べる育児教育プログラム開発をめざした研究活動を行っています。



お父さんに役立つ育児セミナー

アドミッションセンター

学生スタッフとともに

オープンキャンパスでは、在学生の皆さんに学生スタッフとしてご協力いただいています。今年は、のべ273名の学生スタッフとともにオープンキャンパスを開催しました。

学生スタッフは、来場者をご案内する他、授業体験や施設見学、在学生との交流スペース、入試説明会など、さまざまな場面で活躍しています。参加者からの感想には、「説明をしてくださった大学生さんが、とても親切でした。ありがとうございました。」など、学生スタッフへの感謝の想いが多数寄せられました。

今後も学生スタッフの皆さんとともに来場者をお迎えしてまいります。



今年の百花繚蘭祭は、多くの学生や来場者の協力により、無事に成功を収めました。模擬店やステージパフォーマンスにより、活気あふれるイベントとなりました。特に、地域住民の方からも好評いただいている毎年恒例の打ち上げ花火でも盛り上がることができました。百花繚蘭祭を通じて、地域住民の方との交流も深まり、学内外の繋がりが一層強化されたことと思います。参加者からも「楽しかった」「来年も期待している」との声が多く寄せられ、今後のさらなる発展に期待が高まります。皆さまのご協力を感謝いたします。



ホームカミングデー

大学祭1日目、11月2日のキャリアセミナーは、「たったの90分で、あなたも話し方名人」～円滑な職場内コミュニケーション～がテーマでした。誰も仕事をする中で、人とのコミュニケーションにおいて苦勞をした経験があると思います。その解決方法となる話し方のポイントを、端的に実演を交えながら説明していただき、参加者からは「明日から早速使ってみます。」とお声をいただきました。キャリア相談会では、これからの自分自身の生き方やキャリアについての展望を語り合いました。恒例の学科別「同窓会」では、先生方や同窓生と現状報告を行い、和気あいあいとした時間を共有しました。

